

第 26 回 (2016 年) 世界コンピュータ将棋選手権
SilverBullet アピール文書(2016/05/08 追記)

【SilverBullet とは?】

SilverBullet とは銀で作られた弾丸で、西洋の信仰において狼男や悪魔などを撃退できるとされ、装飾を施された護身用拳銃と共に製作される。現代においては文字どおりの弾丸を意味するものではなく、狼男や悪魔を 1 発で撃退できるという意味から転じた比喻表現として用いられる場合が多い。

例えば、ある事象に対する対処の決め手や特効薬、あるいはスポーツで相手チームのエース選手を封じ込める選手などを表現する場合に用いられる。また、ソフトウェア工学の分野においては、フレデリック・ブルックスが 1986 年に発表した論文で "No Silver Bullet (銀の弾丸など無い)" というフレーズを用い、全ての問題に通用する万能な解決策などは存在しないと論じたことから、理想論的なソフトウェア設計について否定的な意味で用いる例もある。(Wikipedia より転載)

今回の SilverBullet は、WCSC26 に向けて外観は銀色に光輝いておりますが、弾薬をやねうら王 mini に変えて望みます。その威力は、次元大介の 44 マグナムに匹敵するかもしれませんが。エンジョイ勢のみなさまもガチ勢のみなさまも油断していると、マグナムにハートを射抜かれちゃいますよ。

【ソフトの概要】

SilverBullet はコンピュータ将棋経験ゼロの IT 技術者がどこまで強くできるかチャレンジしているプログラムです。ライブラリは、やねうら王 mini を C# に換装したものをを用いており、天才やねさんの DNA を受け継いでいます。Aprey チルドレンには、負けないぞ!

【棋風】

振り飛車党です。

今時点のコンピュータ将棋では、評価が低いのですが、将棋自体がまだ解明されているわけではありません。

その未知の領域には振り飛車有利の銀の宝が隠されているかもしれません。

SilverBullet は、そこにチャレンジしていきます。

【最後に】

エンジョイ勢ですが、ガチ勢の列強に一矢報いたいと思います。よろしくお願ひします。

【SpecialThanks】

将棋ソフト開発者のみなさま。Twitter にて様々なアドバイスありがとうございます。

開発者 手塚規雄 棋力 将棋ウォーズ1～2級程度 居飛車党（得意戦法：天守閣美濃）

操作者 山内浩之 棋力 初段 振り飛車党

～～ 2016/05/08 追記分 ～～

【独自点】

C#を部分的に使用しているプログラムは他にもありますが、C#のみで作成された本大会唯一の将棋プログラムになりました。

【技術的変更点】

第3回電王トーナメント時には Blunder(WCSC21)版のソースを参考に Bonanza ライブラリを使用し、パラメータ調整および処理の高速化を施したもので出場しました。

本大会では Bonanza ライブラリからやねうら王ライブラリに変更。その際に BitBoard 化したプログラムにする予定でしたが、非 BitBoard 状態でやねうら王ライブラリを使用して評価関数を作成しました。しかし時間がなくバグがとりきれなかった為、正常な評価値を算出できないものとなりました。特に序盤、中盤に間違った評価値を算出してしまう傾向がでました。その中で代表的なものは美濃囲いにて先手なら1七桂、後手なら9三桂という悪形が一次予選にも現れていました。

反面、終盤になるとバグ部分意外の評価値の重みが大きく、ある程度正確になる傾向がありました（。推定）

【定跡】

振り飛車特化した定跡に編集しました。そのなかでも人間視点（アマチュア初段、二段程度の視点）で有効と思える変化に限定したものを整理しました。